

## 裏金問題の解明と政治資金の透明化を求める意見書

今国会では、政治資金パーティー収入からの裏金作りに端を発した「政治と金」の疑惑を巡る議論が行われています。

野党4党は自民党に対し、全所属議員を対象とする事件の全容解明を求めました。しかし自民党から提出されたのは、この間、政治資金報告書に収入を記載していなかった議員の過去5年間（2018年～22年）の暫定的なリストと、収支報告書の「記載漏れ」の有無とその金額、裏金に関与した衆参85人の名簿だけです。

更に、政治の信頼回復のためとして開催された政治倫理審査会にあっても、公開・開催にあたって2転3転の上、裏金事件の説明責任を果たし、真相究明につながる肝心の点は何ら明らかにされませんでした。

政治資金パーティーの収入をめぐる自民党の派閥ぐるみの真相解明には、一体誰が何の目的でいつ裏金づくりを始めたのか、いったん廃止を決めたのになぜ継続されたのか、具体的に何に使ったのかなどが明らかにされなければ、国民の信頼に応えることは出来ません。

共同通信社の世論調査では「議員が裏金の使い途を説明する必要」が85%、「政策活動費の使い途を公開する必要」が89%と、国民は「政治と金」疑惑の解明と政治資金の透明化を強く望んでいます。

そして一連の疑惑は国会議員に留まらず、地方政治への影響が懸念されます。

よって、国会および政府におかれては、裏金問題の真相解明と政治資金の透明化を速やかに講じられるよう下記の通り要望します。

### 記

- 1 政治資金パーティー収入等からの裏金づくりの指示者、開始時期、手段、使途、裏金の金額・入金先・日付など全容解明を行い国民に報告すること。
- 2 政治資金規正法の見直しを行い、政策活動費の使途公開をはじめ政治資金全般の透明化を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年3月21日

長野県上伊那郡南箕輪村議会  
議長 原 源 次

(宛先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣